

天国における国民の特権

フィリピの信徒への手紙4:6(聖書協会共同訳)

何事も思い煩ってはなりません。どんな場合にも、感謝を込めて祈りと願いを献げ、求めているものを神に打ち明けなさい。

何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい(新改訳2017)。

思い違いをしてはなりません。神は侮られるよ
うな方ではありません。人は、自分の蒔いたもの
を、また刈り取るようになるのです。

ガラテヤ6:7(聖書協会共同訳)

東照公御遺訓

人の一生は重荷を負って遠き
道を行くが如し―いざなむべからず
不自由を常とおもへば不足な
ころろと墜おらば困窮する
時を思ひ出すべし堪忍は善事
長久の基 いかりは敵とみへ
勝事ばかり知てまぐる事と
みれば害其身にいたる おのれ
を責めて人をも責むるな 及ばざる
は過たるよりまじし

“Keep your friends close, but your enemies closer.”
「友は近くに置け。だが敵はもっと近くに置け。」

「ゴッドファーザー PART II」より

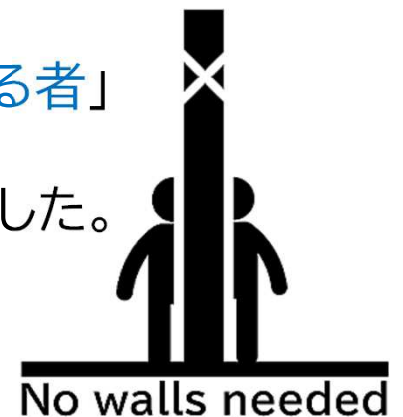
ゴッドファーザー、マイケル・コルレオーネ(アル・パチーノ)の言葉
父ヴィトーからの教え

アメリカ合衆国第16代大統領リンカーンが「敵をも取り込む」方法を採用したのはよく知られています。特に有名なのが、彼が大統領に就任した時に作った閣僚の「敵対者のチーム(Team of Rivals)」です。ライバルだった政治家や自分に反対した人物を、あえて閣僚に登用しました。政敵であった、ジョージ・B・マクレラン将軍を起用したことはよく知られています。ライバルをあえて近くに置くことで、自分の政権に対する妨害を減らし、また多様な意見を集めて強い内閣を作ろうとしたのでした。イエスマンばかりを近くに置いた、どこかのお山の大将(大統領)とは器の大きさがまったく違います。マタイに5:44 しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。

⑨ パウロの言う「敵」ではない

フィリピ3:17~19において、良い手本と悪い手本を分ける鍵は、
キリストの十字架を中心に生きているか、それとも自己と地上的欲望を中心に生きているかにあります。

パウロは、意見の合わない人々に対しても敵意ではなく深い愛を示し、
彼らを「自分の敵」とは呼ばず、「**キリストの十字架に敵対して歩んでいる者**」
(フィリピ3:18)と表現し、問題の本質が個人的対立ではなく、
十字架の意味そのものに関わる重大な危機であることを認識していました。



十字架は隔ての壁を打ち壊し、すべての人を救い主を必要とする罪人として同じ立場に置くものだからです。

またパウロは、信徒たちに悪い模範ではなく良い模範に目を向け、自分や正しく歩む者を見習うよう勧めました。同時に、ローマ書でも、不和やつまずきをもたらし、キリストではなく自己の欲望に仕える者たちを警戒し、距離を置くよう警告しています。

ヨブ19：25～27、ルカ24:39、Iコリ15：42～44、15:50～54、コロサイ3:4が描く**栄光の状態**とは、

①神を自分の目で仰ぎ見る(ヨブ)、②実在する復活の身体を持つ(ルカ)、③朽ちるものから朽ちないものへ変えられる(Iコリ)、④死が完全に打ち破られる(Iコリ)、⑤キリストと共に現される命に生きる(コロ3)という、**すべてが回復され完成する状態**です。聖書的な「栄光」とは、人間が神から切り離されて霊的存在になることではなく、キリストにあって全人的に回復される、**主に堅く立つ**ことです。

つまり、**栄光の状態**とは、人間が神から離れて特別な霊的存在になることではなく、**キリストによって本来あるべき姿に回復され、神との関係の中にしっかり立つこと**をいいます。

パウロは、イエス・キリストによって「最後の敵」である死が最終的に滅ぼされることを、信仰者に与えられた最大の希望、究極の約束として示しています。それは単に死の恐怖が克服されるという心理的救いではなく、死そのものが打ち破られ、「栄光ある体」という全く新しい身体を与えられる現実的な勝利です。無神論者である仏の哲学者、政治家リュック・フェリーでさえ、キリスト教が死を抽象的にではなく、個人のアイデンティティーを保ったまま克服し、個人の不滅という決定的勝利を提示する点を認めています。

このように**パウロにとって、天の市民権とは、復活と永遠の命を約束するものであり、死に対する最終的勝利を内包する希望**なのです。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 7 / 聖句等の総数 33250 <喜びなさい>10個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 喜びなさい]
マタイによる福音書	5:12 喜びなさい。大いに喜びなさい。天には大きな報いがある。あなたがたより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである。」	
ルカによる福音書	10:20 しかし、悪霊があなたがたに服従するからといって、喜んではならない。むしろ、あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」	
コリント信徒への手紙Ⅱ	13:11 終わりに、兄弟たち、喜びなさい。完全な者になりなさい。励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。	
フィリピの信徒への手紙	2:18 同様に、あなたがたも喜びなさい。わたしと一緒に喜びなさい。	
フィリピの信徒への手紙	3:1 では、わたしの兄弟たち、主において喜びなさい。同じことをもう一度書きますが、これはわたしには煩わしいことではなく、あなたがたにとって安全なことなのです。	
フィリピの信徒への手紙	4:4 主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。	
ペトロの手紙Ⅰ	4:13 むしろ、キリストの苦しみにあずかればあずかるほど喜びなさい。それは、キリストの栄光が現れるときにも、喜びに満ちあふれるためです。	

フィリピ4:8~9でパウロは、六つの美德を挙げ、それらを要約したうえで、自分の模範に倣うよう促しています。この勧めは、美德と模範を重ねるフィリピのギリシア・ローマ的文化に適合しつつも、その内容は世俗的ではなく、明確に聖書的な価値観に基づいています。その証拠に、パウロはギリシア哲学の四大徳(思慮・正義・節制・勇気)を用いず、真実を中心とする聖書的美徳を提示しています。

挙げられる美德は、①真実、②気高さ、③正しさ、④清さ、⑤愛すべきもの、⑥名誉あるものであり、いずれも神の義と信仰から生じる考えや行動、また神の被造物に見られる善と美を指しています。

さらにパウロは、「徳」や「称賛に値すること」という条件を加えることで、これらの美德が異教的・相対的に解釈されるのを防ぎ、神に喜ばれる生き方として理解されるよう方向づけています。

「神は私たちの欠乏を知り、そのために備えておられる。神はご自分の子らのために補給庫を持ち、あらゆる状況において彼らの必要を満たしてください。それなのに、私たちはなぜ神に信頼しないのか。神の教えに忠実に従うことを条件に、神はご自分の子らに尊い約束を与えておられる。神に取り除くことのできない重荷はなく、神に追い払うことのできない闇はない。

私たちは自分自身に目を注ぐべきではない。自分自身の不完全さについて考えれば考えるほど、それらに勝利する力は弱まる」。

「今日の光ーキリストを知るために」2020年8月6日

フィリピの信徒への手紙4:19(聖書協会共同訳)

私の神は、ご自分の栄光の富に応じて、**キリスト・イエスにあって、あなたがたに必要なものをすべて満たして下さいます。**

